

消化器検診 Newsletter

[日本消化器がん検診学会関東甲信越支部機関紙]

No. 97

発行所：日本消化器がん検診学会
関東甲信越支部
〒112-0014 東京都文京区関口 1-19-2
第2 弥助ビル 3 階
TEL / 03-3267-0678
FAX / 03-3235-7647
E-mail:kantou@jsgcs.or.jp

支部長挨拶

日本消化器がん検診学会関東甲信越支部
支部長

石川 勉



昨年度は、関東甲信越地方会という独立した組織から日本消化器がん検診学会の関東甲信越支部への移行という大きな変革の一年でした。

地方会から支部への移行

会員の皆様は組織の変更に気づかれていない方が多いのではないのでしょうか。セミナー、研修会、地方会開催など支部の日常業務に変化は見られないからです。事実、支部の活動には全く変化がないと言えます。しかし、予算の仕組みがこれまでとは全く異なってきました。感覚的には、地方会の時代は、独身のようなもので、自分のお金をどう使うかは自己裁量であったのに対し、支部になると、結婚した時のように、自分の使えるお金に制限がかかってきたようなものです。また、支部化される前に繰越金を使い切ってしまうと、ここ数年各セミナー、研修会や地方会に大盤振る舞いをし、毎年300万以上の赤字予算でやってきました。しかし、地方会にあった繰越金も今年度で底をつき、今年度からは健全な財政運営を行う予定です。それに伴い、会員への謝金の中止や役員会の旅費の制限などを行うことになります。この処置は本来の姿に戻ったと考えられますので、ご理解をお願いいたします。

このような状況の中において、検診の現場で役立つ安全の手引きである「胃X線検診安全基準」を全国に先駆けて作成しました。関東甲信越支部に所

属する小田委員長、小川敬子先生をはじめとする医師、技師、保健師の共同作業の賜物です。これから本部に働きかけて全国展開を考えております。

また、いままで会員に郵送していたニュースレターもインターネットのホームページから参照していただく形に変更しましたので、よろしくお願いいたします。

変わるものが最も強い

関東甲信越支部は地方会組織であった当時から全国的に高い評価を得てきました。確かに地方会の参加人数、各部会開催のセミナー・研修会の内容の高さや開催回数の多さなど、過去の業績は他の支部を凌駕するものがありました。これは前身である地方会を作り上げてきた市川先生を初めとする先輩たちの検診にかける情熱と熱意によるものと考えます。しかし、その先人たちは第一線を退き始めています。国民の健康のため、胃癌から国民の命を守るといふ、地方会を作り上げた時の情熱はいつしか、出来上がったシステムを守ろうとする旧主的な考えに固執してきている面があるように思われます。しかし、先人たちの時代には予想さえできなかった、胃癌はピロリ菌感染で起こるという概念が新たに確立されてきました。この大きな流れの中で、X線、内視鏡検査においても新たな検診システムの構築を考えないといけない時代になってきていると思われます。たとえば、新たな基準撮影法は病変の描出に優れていると思

われますが、果たして推奨されるべき検診法として採用してよいのか？従来法での胃癌死亡率減少効果は証明されているが、基準撮影法ではどうなのかを考えることも必要なのではないでしょうか。技師の読影制度や背景胃粘膜診断を用いたX線胃癌検診のシステムも考えなくていけないテーマです。超音波部門では認定制度の問題から会員の減少が続いています。会員になるメリットを考えないといけないと思います。過去から知恵を学び、現在を一生懸命に研鑽・努力し、将来のために国民の健康を守り、会員が希望を持てる支部であってほしいと思います。過去の利権を主張するだけでは、その組織は間違いなく潰れてしまいます。私には関東甲信越支部にはまだ存続するだけの価値がたくさんあると思います。世の中で、最も強いのは変わることができるものです。会員の皆様と一緒に英知を絞って、国民に受け入れられる消化器がん検診システムを構築していきましょう。

新たな専門医制度

新たな専門医制度が2017年度から開始します。専門医養成のための施設として、会員の皆様にはご協力を仰がねばならないと思います。内科、外科、

放射線科などの基盤学会に入っていない日本消化器がん検診学会にとって、これから歩む道を決めなくてはならない大きな問題になると思います。従来の専門医は学会がその分野における技量を認定していたのに対し、新しい専門医は、国民に理解される、あるいは国民の健康に役立つと感じていただけるような専門医の養成が求められています。従来の検診システムからの大きな変化が求められることになると思います。

事務員の交代

菊池さんから水石さんに代わりました。支部長の不手際のため、暫く支部事務局を閉鎖した状態が続き、会員の皆様には大変な不便をおかけしたことをお詫びいたします。現在は、私の所属している獨協医科大学放射線科の秘書の山岸さん、国居さんにも事務処理を手伝っていただき、会員の皆様にはご迷惑をおかけしないよう努力するつもりです。

最後に

国民に理解される消化器がん検診を目指して、会員の皆様とともに歩み続けていきたいと思っています。

目 次

「支部長挨拶」石川 勉	1
第 74 回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会 開催ご案内	3
会長挨拶 上甲 宏	4
テーマ「消化器がん検診における地域開業医の役割」	6
医師研修会のご案内	
日本消化器がん検診学会関東甲信越支部	
超音波研修委員会 ザ・イメージング・コンテスト作品募集	8
第 3 回千葉セミナー	9
第 10 回長野セミナー	10
超音波スクリーニング研修講演会 2014 有明のご案内	12
案内図	13
放射線研修委員会 平成 26 年度講習会開催趣旨・予定	14
編集後記 山口 和也	16

第 74 回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会 開催のご案内

会 期：平成 26 年 8 月 31 日（日）

会 場：茨城県メディカルセンター（茨城県水戸市笠原町 489）

水戸医師会（茨城県水戸市笠原町 993-17）

茨城県医師会（茨城県水戸市笠原町 489

茨城県メディカルセンター 4F）

会 長：上甲 宏

水戸市医師会会長・上甲医院院長

問い合わせ先：

第 74 回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会事務局

〒310-0852

水戸市笠原町 993-17

連絡先（電話）029-305-8811

水戸市医師会（石田・鈴木）

ホームページ：<http://www.mito-med.or.jp/index2.htm>

会長挨拶

第 74 回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会 会長 上甲 宏
(水戸市医師会会長 上甲医院院長)



第 74 回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会の会長に任命されました、上甲です。
何卒宜しくお願い致します。

第 74 回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会を 2014 年 8 月 31 日（日）に水戸市にございます「水戸市医師会館」「茨城県メディカルセンター」及び「茨城県医師会」で開催する運びとなりました。

1964 年に胃がん検診が始まり、その後大腸がん検診、腹部超音波検診の消化器がん検診が実施され、一定の効果は認められています。しかし、肝心の「地域がん検診受診率」は低迷の一途を辿っているのが現状です。2009 年度の茨城県消化器がん検診の受診率は、地域検診、職域検診、人間ドック、その他何らかの形態の検診を受けた受診者全体で胃がん検診が 41%、大腸がん検診が 36%でした。この中で地域胃がん検診受診率は 12%でした。従来の X 線法を用いた胃がん検診は対策型検診として推奨されていますが、80%が集団検診の形で実施されており、2012 年度の胃がん検診受診率は 10%未満でした。

今、消化器がん検診を巡り、特に「胃がん検診」では様々な議論がございます。茨城県内を見渡してみると、医療機関数等地域住民の医療環境には地域格差があり、医療過疎地域は兎も角、都市型といわれる医療機関が充実した地域では外来診療の内視鏡検査の中に「胃がん検診」目的が混在している現状があり、実情にあわなくなっている感もあります。

地域住民と密接な関係があるのは郡市医師会を構成する開業医になりますが、茨城県では、今まで郡市医師会が地域消化器がん検診に熱心に関わってきたとはいえません。過疎地域も多く、集団検診が中心でした。しかし、これからは地域の医療機関環境に応じてがん検診への対策を講じ、受診率や精検受診率を向上させる必要があると考えています。そのためには、医師会の構成の中心となっている開業医、県郡市医師会が胃がん検診が胃がん検診・大腸がん検診・超音波検診の現状を知り、消化器がん検診学会の発展のために寄与する心構えを持っていくことが必要です。

従来とは違い、「日曜日開催」とさせて頂いたのは一人でも多くの開業医の先生方が学術集会に参加し、これからの消化器がん検診を考える機会になれば、と考えてのことです。これは土曜日では参加が難しかったレントゲン技師・臨床検査技師らの参加の機会になると考えております。翌日の勤務に差支えが生じないように、開催時間等は工夫して参る所存です。

水戸は、東京（上野）から 67 分と、都心からのアクセスもいいので、是非ともご参加いただきますようお願い致します。多数のご参加お待ちしております。

第74回日本消化器がん検診学会 関東甲信越支部地方会プログラムのご案内

会 長 上 甲 宏（水戸市医師会長、上甲医院院長）
 会 期 **2014年8月31日(日)** 9:00～16:00
 会 場 茨城県メディカルセンター 1階研修講堂 } (〒310-0852 茨城県水戸市笠原町489)
 茨城県医師会館 4階会議室
 水戸市医師会館 1階研修講堂 (〒310-0852 茨城県水戸市笠原町993-17)
 参加費 3,000円（参加費は茨城県メディカルセンター1階受付になります。他会場での受付はできません。ご注意ください。）

茨城県メディカルセンター 1階研修講堂

- ・特別講演（市民公開講座）13:40～15:00
 「これからの胃がん検診：胃がんリスク検診(ABC検診)の現状」
 演 者：三 木 一 正（NPO法人日本胃がん予知・診断・治療研究機構）
 司 会：福 富 久 之（茨城県メディカルセンター）
- ・シンポジウム（公募・一部指定）9:00～11:00
 「これからの胃がん検診：背景胃粘膜を加味した胃がん検診 医師・技師・行政の立場から」
 司 会：入 口 陽 介（東京都がん検診センター）
 齋 藤 洋 子（茨城県メディカルセンター）
- ・教育講演「大腸内視鏡検診のこれから」11:00～11:50
 演 者：鈴 木 康 元（松島クリニック）
 司 会：石 川 勉（獨協医科大学 放射線部）
- ・会長講演「水戸市胃がん検診の現状と今後の展望」11:50～12:10
 演 者：上 甲 宏（上甲医院）
 司 会：田 渕 崇 文（東京医科大学茨城医療センター）
- ・ランチョンセミナー「検診におけるピロリ菌感染と内視鏡所見」12:20～13:10
 演 者：河 合 隆（東京医科大学病院 内視鏡センター）
 司 会：溝 上 裕 士（筑波大学 光学医療診療部）
- ・イブニングセミナー 15:10～16:00
 「胃X線検査による背景胃粘膜診断、およびピロリ菌感染者全員除菌時代の胃X線検査の役割」
 演 者：中 島 滋 美（独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）滋賀病院）
 司 会：今 村 清 子（神奈川県労働衛生福祉協会総合健診センター）

茨城県医師会館 4階会議室

超音波関連

- ・一般演題 9:10～10:00
- ・教育講演「日常診療で診る肝病変：超音波所見の診断ポイント」10:00～11:00
 演 者：仁 平 武（水戸済生会総合病院）
 司 会：山 口 和 也（ちば県民保健予防財団）
- ・ザ・ベストイメージコンテスト 11:15～11:50
- ・パネルディスカッション、基調講演「カテゴリー分類と判定区分」14:00～15:30
 演 者：小 川 真 宏（駿河台日本大学病院）
 司 会：増 田 光 一（東京医科大学茨城医療センター放射線部）
- ・ザ・ベストイメージコンテスト 結果／表彰 15:35～15:55

水戸市医師会館 1階研修講堂

- ・一般演題（公募）11:00～12:00 ・症例検討会 13:00～15:00

医師研修会について【受講申込締切日 2014年 7 月31日】

第74回地方会で指定する7つの講演のうち、3つ以上受講していただくことで、修了証を発行いたします。申込は下記mailまでお送り下さい。

発行費：2,000円

お問い合わせ先
事務局

〒310-0852 茨城県水戸市笠原町993-17水戸市医師会内 事務局担当 石田・鈴木
 Tel 029-305-8811 Fax 029-305-7710 E-mail ishida@mito-med.or.jp



第74回

日本消化器 がん検診学会 関東甲信越支部地方会 プログラム案内

会 期

2014年 8月31日(日)

9:00~16:00

会 場

茨城県メディカルセンター (1階研修講堂)

茨城県医師会館 (4階会議室)

〒310-0852 茨城県水戸市笠原町489

水戸市医師会館 (1階研修講堂)

〒310-0852 茨城県水戸市笠原町993-17

会 長

上 甲 宏 (水戸市医師会長・上甲医院院長)

テーマ

「消化器がん検診における地域開業医の役割」

参加費

3,000円

※学会は3会場を使用して開催されますが、受付は1ヶ所「茨城県メディカルセンター1階」正面入口で行います。お間違いないようご注意ください。

※参加者には認定医更新単位、専門技師更新単位が付与される参加証をお渡し致します。

※この学会は、茨城県保健予防課が指定する、胃がん検診従事者講習会の「その他消化器系学会」に該当致します。

水戸黄門像 (千波湖)

***** 学 会 事 務 局 *****

〒310-0852 茨城県水戸市笠原町993-17(水戸市医師会内)

TEL.029-305-8811/FAX.029-305-7710

E-mail ishida@mito-med.or.jp HP <http://www.mito-med.or.jp/index2.htm>



ザ・ベスト・イメージング・コンテスト作品募集

第 74 回日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会学術集会(第 16 回超音波部会学術集会)において「第 7 回ザ・ベスト・イメージング・コンテスト」を開催いたします。

記録された超音波写真には検査担当者の思いが込められています。日常業務で撮影された自慢のベストショットを応募してください。応募していただいた超音波写真を、応募者・所属施設を伏せて会場においてスライドショーで閲覧し、会場参加者の投票でベストイメージングを選出します。優秀賞には粗品を進呈いたします。

応募資格は医師・技師を問いません。また応募者のプレゼンテーションはありませんので、学術集会に参加できない方でも応募して頂いて結構です。

特に、出張検診、人間ドック等で活躍されている方々の汎用機で撮影された症例のご応募お待ちしております。

第 74 回関東甲信越地方会学術集会（第 16 回超音波部会学術集会）

会 期：平成 26 年 8 月 31 日（日）

会 場：茨城県メディカルセンター・水戸市医師会・茨城県医師会

大会長：上甲 宏（水戸市医師会会長 上甲医院院長）

応募要項

【超音波画像】

B モード（カラードプラ・パワードプラ可）1 枚（ただし 2 分割使用可）

超音波画像に文字、記号等はいれないで下さい。

【領域】

上腹部（肝臓、胆道、膵臓、脾臓、腎臓、消化管、腹部大動脈、その他）

【応募方法】

E-mail で件名を『ベストイメージング（応募者名）』とし、氏名・連絡先住所を明記の上、添付ファイル（power point）で応募して下さい。

《スライド 1 枚目》

氏名、所属施設名、超音波機種名、周波数、患者（検診者）の年代・性別、診断名、コメント（術者の一言）

《スライド 2 枚目》

超音波画像

【応募先】

横浜ソーワクリニック・横浜総合健診センター

担当：中村 稔 Mail：kensa.yokohama@sowa.or.jp

【締め切り】

平成 26 年 8 月 9 日（必着）

***応募は一人 1 点のみとさせていただきます。**

日本消化器がん検診学会関東甲信越支部超音波研修委員会 第3回 千葉セミナー

2014年 7月12日 土 (受付 ハンズオンおよびライブデモ 9:10～)
セミナー 12:30～

場所: 千葉市民会館 (小ホールおよび特別会議室2)

日本消化器がん検診学会関東甲信越支部超音波研修委員会代表世話人: 依田芳起 / 大会長: 是永圭子 (国立国際医療研究センター国府台病院)

参加費: セミナーのみ (予約不要) 会員 1,000円 / 非会員 2,000円 <超音波検査士資格更新指定 / 5単位>
セミナー+ライブデモ (要予約) 会員 3,000円 / 非会員 4,000円
セミナー+ハンズオン (要予約) 会員 7,000円 / 非会員 8,000円
(昼食は用意されていませんので、ご注意ください)

プログラム

ハンズオンおよびライブデモ

9:10

ハンズオンおよびライブデモ受付

9:30

ハンズオン 9:30～11:30

①肝胆膵 ②消化管 ③頸動脈

ライブデモ

9:30～10:30 消化管 (長谷川雄一)

10:40～11:40 胆膵 (岡庭信司)

セミナー

12:30

セミナー受付

13:00

開会の挨拶 是永圭子 (国立国際医療研究センター国府台病院)

13:10～14:10

教育講演 1

「腹部領域におけるドプラ検査の有用性」

講師 / 静岡県立静岡がんセンター 南里和秀

座長 / 国保旭中央病院 関根智紀

14:20～15:20

教育講演 2

「超音波装置の進歩と変遷 ～Bモードを中心に～」

講師 / 東芝メディカルシステムズ(株) 濱滝壽伸

座長 / ちば県民保健予防財団 山口和也

15:30～16:30

教育講演 3

「急性腹症の超音波診断」

講師 / 川崎医科大学 畠 二郎

座長 / 国立国際医療研究センター国府台病院 是永圭子

16:30～17:00

閉会の挨拶 竹原靖明

(敬称略)

ハンズオン、ライブデモ申込み方法

- ① メールの件名に「千葉セミナー申込み」と記入
 - ② 氏名・施設名・職種・経験年数・電話番号を記入
 - ③ ハンズオン、ライブデモのいずれかを記入
 - ④ ハンズオン希望者は、「肝胆膵」「消化管」「頸動脈」のいずれか、希望コースを記入
 - ⑤ 日本消化器がん検診学会の会員、非会員を明記
- ハンズオン、ライブデモの申込みはセミナー申込みも含まれておりますのでご了承ください。
- セミナーのみ参加の場合は、当日受付となります。
- 電話受付はしておりません。メールのみでお願い申し上げます。
- 一通のメールにつき、一名の申込みとなります。
- 一通のメールに複数の申込みの場合、その申込みは受け付けません。
- 先着順ですので、定員に達し次第、締め切りといたします。なお、申込みが確定次第、メールにて連絡いたします。
- 申込み後、当日までの手続きはすべて、申込み時のメールアドレスに事務局からメールを返信して連絡いたします。申込みの際は、事務局からの返信メールがスムーズにできるアドレスをご使用ください。
- 着信拒否等により事務局からの返信メールが届かないことが生じないよう、メールの受信設定にはご注意ください。
- ◎13:00～17:00 ハンズオン、ライブデモで使用した機器を展示いたします。協賛: 東芝メディカルシステムズ(株)

◆ 問い合わせ先 ◆

【千葉セミナー運営委員会事務局】

亀田総合病院超音波検査室 小宮雅明、若杉聡

E-mail: chibaseminar@kameda.jp

◆ アクセス ◆

千葉市民会館

〒260-0017

千葉市中央区要町 1-1

TEL: 043-224-2431

JR千葉駅より徒歩7分



日本消化器がん検診学会 関東甲信越支部 超音波研修委員会 第 10 回長野セミナー

日 時：2014 年 8 月 2 日（土） 13：30～17：00 （受付開始 12：30～）

会 場：佐久大学（長野県佐久市岩村田 2384）TEL 0267-68-6680

会場アクセス：<http://www.saku.ac.jp/access/index.html> （学生駐車場をご利用下さい）

送迎バス：佐久平駅 浅間口 12：30-13：00 の予定（ピストン対応）

終了後、佐久平駅までの予定（ピストン対応）

参加費：会員 2000 円、非会員 3000 円

日超医超音波検査士資格更新指定（出席 5 単位）

〈プログラム〉

12：30- セミナー受付開始

13：30-13：35 開会の辞 飯田市立病院 消化器内科 岡庭信司先生

13：35-14：35 教育講演 1

「肝・胆・膵のカテゴリー分類を使いこなす」

演者 飯田市立病院 消化器内科 岡庭信司先生

座長 佐久総合病院 佐久医療センター 臨床検査科 荻原 毅先生

14：35-14：50 休憩

14：50-15：30 教育講演 2

「技師からみた胆道疾患の超音波検査のポイント」

演者 東京女子医科大学 東医療センター 岩田好隆先生

座長 小諸厚生総合病院 臨床画像センター 水澤幸博先生

15：30-15：45 休憩

15：45-16：45 特別講演

「一度見たら忘れない症例、知らないと描出出来ない症例」

演者 東邦大学医療センター大橋病院 放射線医学講座 関口隆三先生

座長 佐久総合病院 佐久医療センター 消化器内科 比佐岳史先生

16：45-16：55 閉会の辞 横浜鶴ヶ峰病院 健康管理センター 竹原靖明先生

問い合わせ：長野セミナー実行委員会事務局

飯田市立病院 放射線技術科 担当：岩下 和広

【TEL】0265（21）1255 内線 2050 【FAX】0265（21）1266 【e-mail】ultrasound@imh.jp

第 1 回ハンズオン・ライブデモンストレーション

日 時：2014 年 8 月 2 日（土）
 ハンズオン 9:30～12:30（受付開始 9:00～）
 ライブデモンストレーション 10:00～12:00（受付開始 9:30～）
 当番世話人：岡庭 信司
 会 場：佐久大学（長野県佐久市岩村田 2384）TEL 0267-68-6680
 会場アクセス：<http://www.saku.ac.jp/access/index.html>（学生駐車場をご利用下さい）
 送迎バス：佐久平駅 浅間口 8:30-9:30 の予定（ピストン対応）
 午後の第 10 回長野セミナー終了後、佐久平駅までの予定（ピストン対応）
 参 加 費：ハンズオン 4000 円
 ライブデモンストレーション 2000 円
 ※ハンズオン、ライブデモンストレーションは事前登録が必要です
 またライブデモンストレーションは会場に余裕がある場合のみ当日参加を受け付けます
 共 催：日本消化器がん検診学会

<プログラム>

ハンズオン

9:00- 受付開始
 9:30-12:30 ハンズオン 定員 30 人（各ブース 6 人） 先着順
 腹部初級（3 ブース）
 関東甲信越地方会の標準的描出法の指導
 膵・胆道（2 ブース）
 インストラクター
 佐久総合病院 佐久医療センター 消化器内科 比佐 岳史先生
 亀田総合病院 消化器診断科 若杉 聡先生

ライブデモンストレーション

9:30- 受付開始
 10:00-12:00 『肝・胆・膵の描出のコツ』
 肝・胆・膵の描出に関連した講義とライブデモ
 デモンストレーター
 飯田市立病院 消化器内科 岡庭 信司先生

登録申込方法 seirikensa@sakuhp.or.jp 宛にメールで申し込んで下さい。

- ① 件名：ハンズオンまたはライブデモンストレーション申込み と記入
 - ② 氏名、施設名、職種
 - ③ 連絡先および電話番号
 - ④ 希望コース：腹部初級・膵胆道・ライブデモンストレーション
 - ⑤ お弁当（お茶付き）の有無（別途 1000 円）
 （食事会場：学生食堂がご利用できます。持ち込み可。営業はしていません。）
- ※先着順ですので、定員に達し次第 締め切りとさせていただきます。
 なお、申し込みが確定した順にメールにて連絡いたします。
 参加費は当日受付にてお願いいたします。

問い合わせ：実行委員会事務局

飯田市立病院 放射線技術科 担当：岩下 和広

【TEL】0265（21）1255 内線 2050 【FAX】0265（21）1266 【e-mail】ultrasound@imh.jp

超音波スクリーニング研修講演会 2014 有明のご案内

謹啓

下記の通り、『超音波スクリーニング研修講演会 2014 有明』を開催致します。

当研修講演会は、超音波スクリーニングに直接携わる技師の教育・育成を目的に、日本消化器がん検診学会・日本総合健診医学会の共催で行い、超音波スクリーニングの精度向上に必要な基礎および臨床的知識を広く網羅した講演会です。対象臓器は肝臓、胆道、膵臓、消化管、腎臓などの腹部臓器を中心に、乳腺、甲状腺を含めた分野で企画し、講師陣には現在、超音波医学の第一線で活躍されているトップレベルの指導医を招聘しております。皆様の参加をお待ちしております。

謹白

■会 期：平成 26 年 12 月 13 日（土）

午前 9 時 25 分～午後 5 時 00 分

*開場・受付開始：8 時 30 分から

■会 場：TOC 有明 20 階 コンベンションホール（WEST GOLD20）

東京都江東区有明 3-5-7

*埼京線・りんかい線『国際展示場』駅より徒歩 3 分

*ゆりかもめ『有明』または『国際展示場正面』駅より徒歩 4 分

■参加費：5,000 円 事前登録不要

■主 催：特定非営利活動法人 超音波スクリーニングネットワーク

理事長：桑島 章

■共 催：日本消化器がん検診学会／日本総合健診医学会

■プログラム テーマ：『ステップアップに必要な知識』

『胆道』 講師：関口 隆三（東邦大学医療センター大森病院）

『腎・尿路』 講師：桑島 章（PL 東京健康管理センター）

『膵臓』 講師：岡庭 信司（飯田市立病院）

ランチョンセミナー『基礎…スクリーニングに必要な知識…』

講師：佐々木 博（国際医療福祉大学）

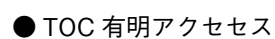
『消化管』 講師：畠 二郎（川崎医科大学附属病院）

『乳腺』 講師：何森 亜由美（高松平和病院）

『肝臓』 講師：飯島 尋子（兵庫医科大学病院）

■問合せ：関東中央病院 臨床検査部（担当：山田清勝）

E-mail kensa.gazou@kanto-ctr-hsp.com



平成 26 年度講習会の開催趣旨・予定

日本消化器がん検診学会 関東甲信越支部 放射線部会では、昨年度まで初心者向けに「レベルアップセミナー」、更に、読影の補助に向けて「読影勉強会」を開催して参りました。

今年度は広くレベルの違う方が講習会に参加できるよう、セミナーのレベルを 2 つに分け、初心者向けに基礎知識を取得して頂く為の「初心者向けレベルアップセミナー」を年度初めに 2 回行い、その後、胃がん検診専門技師の認定を持っている基礎知識が充分ある方を対象に、更にレベルアップしていただける「認定技師講習会」を今年度 4 回行う予定です。以上は東京での開催を予定していますが、長野県、新潟県におきましては昨年度同様のレベルアップセミナー（基礎レベル以上）を開催する予定です。

開催のご案内を順次、放射線部会 HP 等で行いますので、ご都合をつけ多数のご参加よろしくお願いします。

以上、今年度も講習会に参加して皆様の知識・技術のレベルアップをはかってください。

—放射線部会学術委員会—

1. 胃 X 線レベルアップセミナー

【参加費】

会 員：1,500 円（日本消化器がん検診学会または日本診療放射線技師会）

非会員：2,500 円

【基礎レベル】

開催回数	開 催 日	会 場
第 30 回	平成 26 年 7 月 19 日（土） 13 時 00 分～ 18 時 00 分	東京都診療放射線技師会

第 30 回講義内容

講義名	講師
「二重造影法の始まりと検診の原則」	宮田和則
「胃X線撮影の基礎」	金子英利
「新人技師まー君の1日」（胃X線検査入門編）	和田昌訓
「胃X線撮影の基礎」	富野泰弘先生

【基礎レベル以上】

開催回数	開 催 日	会 場
第 31 回	平成 26 年 7 月 26 日（土） 13 時 00 分～ 18 時 00 分	長野県（予定）
第 32 回	平成 26 年 9 月 27 日（土） 13 時 00 分～ 18 時 00 分	新潟県（予定）

2. 認定技師講習会（認定技師取得者または同等レベル）

【参加費】

会 員：1,500 円（日本消化器がん検診学会または日本診療放射線技師会）

非会員：2,500 円

開催回数	開 催 日	会 場
第 1 回	平成 26 年 8 月 23 日（土） 13 時 00 分～ 18 時 00 分	東京都診療放射線技師会
第 2 回	平成 26 年 10 月 11 日（土） 13 時 00 分～ 18 時 00 分	東京都診療放射線技師会
第 3 回	平成 26 年 12 月 13 日（土） 13 時 00 分～ 18 時 00 分	東京都診療放射線技師会
第 4 回	平成 27 年 1 月 17 日（土） 13 時 00 分～ 18 時 00 分	東京都診療放射線技師会

3. 日本消化器がん検診学会関東甲信越支部第 47 回放射線部会学術集会

開催日時：平成 27 年 3 月 7 日（土） 9 時 00 分～ 18 時 00 分

大 会 長：宮田和則（魚沼地域胃集団検診協議会）

会 場：ホテルニューオオタニ長岡 NC ホール

新潟県長岡市台町 2-8-35

編集後記

今号より、編集委員長をさせていただくことになりました。関東甲信越地方会から関東甲信越支部になり、事務的な処理が大きく変わり、会員の皆様の間でもまだ混乱が続いていると感じます。会員同士連絡を取り合って、正しい道を探していただきたいと思います。予算立てが変わり、果たして Newsletter を従来通り発行できるのか不透明でありましたが、代議員会でも存続が決定し、ここに 97 号を発行できることとなりました。

巻頭言には石川先生から原稿をいただきました。

次回 74 回地方会が水戸で開催されます。各研修委員会では、今年度も多数のセミナーや講習会が予定されています。開催案内を会員の皆様にお届けするのが、この Newsletter の役割です。

約 2 年前より 40 周年記念誌の企画があり、原稿を募集していました。すでに御執筆いただいた原稿が多くあります。Newsletter の中でコーナーを設け、原稿を掲載させていただく事を計画しています。

編集委員の追加も予定しています。当面 40 周年企画で紙面が埋まると思いますが、新企画のご希望、ご意見がございましたらお聞かせ下さい。今後とも Newsletter をよろしくお願いいたします。

公益財団法人ちば県民保健予防財団総合健診センター消化器科
山口和也

■編集委員会■

編集委員長 山口 和也

編集委員 岡田 義和 神宮字広明 山本 美穂 小田 丈二

(非売品)